



保護者のための就職活動講座



平素は学生の就職活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。今回は、保護者の皆さまからのご質問にお答えさせていただく形をとりながら、キャリア支援についてご説明申し上げます。(キャリアセンター キャリア支援課長 給田 佳名子)

Q 最近の就活事情を教えてください

A 2017年度の就活状況は、売り手市場という言葉そのままに、新卒求人倍率が1.78倍でした。ただ、これにはさまざまな要因があり、学生にとって良い状況ばかりとはいえません。新卒採用に関してはあくまでも人物重視であり、採用予定人数の確保よりも、学生の質を優先させる企業が全体の8割を占めています。また、選考開始から内定までのスピードが早まり、企業研究に十分時間をかけずに決めてしまう学生が増加しています。その結果、本当にこれでよいのかと悩み、就職活動を継続する学生が散見されます。また、自己分析不足でどんな仕事や働き方がしたいのかを明確にできておらず、就職活動が長期化する学生も見受けられます。

現在の状況を甘くとらえず、時間をかけてしっかりと準備することが重要です。

Q 就職活動のために、親ができることはありますか？

A 人生の先輩として、さまざまな方向から支えてあげていただきたいと思います。そのためにも就職に関して、家族で話し合う機会を持ていただきたいのです。できるだけ早い時期に、親と子どもの希望や目指す将来のすり合わせをしていただくと、お子さま安心して就職活動に打ち込めるといいます。ただし、あくまでもお子さまの人生です。お子さまの主体性を尊重してあげてください。

ご存じの通り、日本経済を支える企業のほとんどが、世間的には名前の知られていないBtoB(企業間取引)の中堅・中小企業です。そしてその多くが素晴らしい業績を上げている優良企業です。誰もが名前を知っている大手企業に就職するだけが幸せではないということをご理解いただきたいと思います。また、就職活動にはお金がかかります。リクルートスーツや交通費・宿泊代など多額の出費がありますが、お子さまは就職活動や授業に忙しく、アルバイトができない状況になります。悔いのない就職活動をするためにも、金銭的な援助をしてあげていただければ幸いです。

Q 留学をしたら就職に有利ですか？

A 昨今、十分な学力と国際性やコミュニケーション能力を習得し、ストレス耐性に優れた学生が求められる状況から、海外留学を経験した学生に特化した採用活動を行う企業が増えています。しかし、帰国のタイミングによっては企業の採用活動のピークを外す場合がありますので、就職活動スケジュールには常にアンテナを張っておく必要があります。

Q キャリアセンターについて教えてください

A 就職活動だけでなく、キャリア教育の観点からも支援を行っています。

1・2年次生向けのガイダンスをはじめ、学年を問わず参加できるイベントやセミナーも多彩に実施。各種就職支援講座や就活用履歴書写真撮影会、企業見学バスツアー、若手OB・OGとの交流会、就職モチベーションアップセミナーなど、後援会の助成をいただいて開催しているものもあります。

昨年夏、キャンパスの中央に位置するスタイリッシュな建物4号館2階にリニューアルオープンしました。全面ガラス張りの明るく開放的な新生キャリアセンターにはパソコン16台を常設し、学生たちが就職活動に活用しています。また、就職関連図書や雑誌、就活対策本、各種新聞が設置されているほか、Uターン就職情報、学外でのセミナーなどの情報も随時提供しています。

また、学科の教員と協働でキャリア支援を行う取り組みを始めており、学科の特性を生かしたキャリアイベントも開催しています。さらに、今年度からは3・4年次生のゼミを訪問し、就職の話をする取り組みも実施しました。学生がキャリアセンターを訪れるのを待つだけでなく、私たちが積極的にセンター外に赴くことで、一人でも多くの学生を支援していければと考えています。

今後とも学生の就職活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



▲ 後援会の助成を受けて開催している就職モチベーションアップセミナー



▲ 学内に約180社を招いて行う企業理解説明会



▲ 2017年夏に移転リニューアルしたキャリアセンター



世界に飛び出せ！ 京都外大生の留学体験

多くの京都外大生が世界に飛び出し、留学先でさまざまな体験をしながら学んでいます。学生本人や保証人が投稿してくれた体験談を元に書き起こし留学の様子をレポートします。

オーストラリア／ニュー・サウス・ウェールズ大学

国際教養学科 3年次生 森 彩佳さん
派遣留学 (2017年9月～12月)

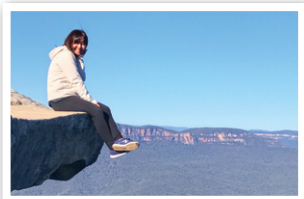
<保証人から>

高校生のころ短期でオーストラリアに留学した経験があったので心配なく送り出すことができました。InstagramやLINEを通じて、たくさんの友人を作り仲良く過ごしている様子を知り安心できました。本人の趣味である“アカペラ”のメンバーを現地で募り、ステージで披露するという貴重な経験もできたようです。今回の留学体験でバイタリティーに富んだ人間になったような気がします。本人が望む将来を実現してほしいと願っています。留学に行って本当に良かったね! と思いました。

<学生本人から>

今回の留学を通じて得られたことは、良い意味で人に合わせることがなくなり、変に遠慮することもなくなり、人は人、自分は自分と思えるようになり、アイデンティティを大事にするようになったことです。さまざまな国籍の人が生活するオーストラリアで暮らし、その人たちと関わるうちに自然にそのような考え方をするようになったと思います。

困ったことは、花粉症の薬や目薬が薬局にないことです。普段使っている薬は持参することをお勧めします。また、現金を引き出せる銀行のカードがあれば役立ちます。留学中、体の心配をしてくれて、思う存分好きなようにさせてくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。



フランス／アンジェ・カトリック大学

フランス語学科 4年次生 山口 琢也さん
派遣留学 (2017年2月～6月)

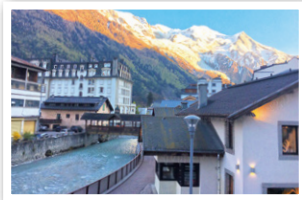
<保証人から>

2015年に1カ月のフランス留学経験がありましたし、息子は何事も自分で決めて実行する子なので特に心配はしていませんでした。ただヨーロッパ各地でテロ事件が多発している時期でしたので、多少不安はありました。留学中はLINEを使って連絡を取り合っていました。留学して単位を取得して帰国したことが、親としてはHappyなことでした。

留学先では、フランス語や文化、歴史など、多くのことを体得したようです。いろいろな国の友達もできたようです。そして何よりも我が子が、子どもから大人へと大きく成長したことが良かったと思います。

<学生本人から>

朝から夕方まで授業の日が多く、空き時間を利用して宿題などの勉強をすることが多かったです。アジアからの留学生が多く、アジア系の友人が沢山できました。フランスではパリを中心にテロ事件が発生していましたが、留学先のアンジェは治安も良く、学生の町でもあるので、若者も多く活気のある町でした。そんな町でも同じクラスの日本人がスリ被害にあいそうだったので、注意を怠ってはいけなかったと思います。



アメリカ合衆国／カリフォルニア大学アーバイン校

英米語学科 3年次生 武田 佳恋さん
派遣留学 (2017年4月～8月)

<保証人から>

留学中、LINEのビデオ通話ができたので、頻りに連絡が取れ、離れている気がしませんでした。帰国後、アメリカで友達になった子からの連絡が多く、英語で話している時間が増えました。留学により英語も少し上達したと思うので、本人がそれを活かせる職につき、将来グローバルな生活ができるようになることを望んでいます。

<学生本人から>

文化の違いを学びました。学校には色々な国籍の人がいて国によって考え方が違うことが本当に面白かったです。アメリカ人も積極的に関わるようにしたので、アメリカは日本と違って多くの文化が混ざっていることを知りました。留学の際の心構えとして、恥ずかしがらず色々なことに挑戦することをお勧めします。また、分からないことや、悩みがある場合はため込まず、しっかりと相手に伝えることが大切です。



国際部に聞く 留学Q&A

(国際部 国際課長 下松谷 勤)

皆さまの質問にお答えします！
国際部へお問い合わせください。

Q 留学に伴う危機管理について教えてください

A 本学では、海外留学・渡航前の危機管理セミナーを開催し、大規模災害、テロ、事故などの危機対応に関して説明を行っています。留学先の安全情報をいち早く入手したい保証人の方には、外務省の「たびレジ」への簡易登録がおすすめです。メールアドレスと国・地域を指定するだけで、対象国・地域の最新海外安全情報、在外公館が発出する緊急一斉通報を入手できます。

Q 留学した先輩の話を聞くことはできますか？

A 留学から帰ってきた学生が、国際部SA (Student Ambassador) として留学情報室 (4号館2階) に常駐していますので、学生たちは勉強方法や留学の心構えなどを気軽に相談できます。また、2018年度から専門の留学アドバイザーを配置 (週2・3日) する予定です。

Q 語学検定の成績は留学に関わりますか？

A 例えば、英語圏の派遣留学の場合、出願時にTOEFL iBTまたはIELTSのスコアが必要です。派遣留学A (交換留学) の場合は、留学先大学が定めた基準以上のスコアも必要です。受験料は、年2回まで、後援会から全額助成を受けることができます。また、夏期および春期休暇中に無料で受講できる講座も開講しています。

クラブ紹介

後援会では、部活動を奨励金でサポート！

京都外大には70団体を超えるクラブやサークルがあり、目標高く活動しています。今回はその中から、洋弓部とフランス語研究会を紹介します。

体育会 洋弓部

主将 日本語学科 4年次生 今池 良

洋弓は別名アーチェリーと言い、弓で矢を射、標的を狙う射撃競技です。日本人選手では山本博選手が有名で、2004年のオリンピック銀メダルを取る活躍をしています。弓道と似ているところはあるものの、アメリカなどではハンティングがメインのため、特に精神統一をするといった考え方はありません。だから、自由なフォームやテンポで撃つ人が多く、たとえば精度だけではなく、連射が上手かったり、歩きながら狙い撃つなどあります。特にトラディショナルと呼ばれるタイプのアーチェリーには驚くほど雑なフォームでありながら高精度で撃てる人もいます。このように撃ち方も自由であることもこのスポーツの魅力です。去年は、留学生が多く在籍しており、国際色豊かな部活でした。アーチェリーを通して共に汗を流し大変仲の良い関係を築くことができました。留学生の大半は帰国してしまったのですが、今年は、1年次生部員が2人入部してくれて京都府記録会などにも参加しました。我が部は、後援会の支援によって成り立っております。ありがとうございました。



文化部会 フランス語研究会

会長 フランス語学科 1年次生 門脇 景子

Bonjour! いつもフランス語研究会の活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。私たちは「フランス語及びフランス語文化圏を研究し理解を深める」ということを目標に学年・学科を超え、部員全員で互いに一喜一憂しながら励んでいます。春学期にはフランス語暗誦大会への積極的な参加と運営、秋学期には語劇祭でのフランス語劇の発表という行事を主に活動しています。フランス語暗誦大会では何度も読み返し、発音・表現・暗記を練習します。先輩やOB・OGの方、またネイティブの先生にもご指導いただきました。語劇祭に向けては演技練習から舞台道具・照明・音響などを自分たちで考えます。作り上げた作品は素晴らしい、本番はみんな少し興奮気味、当日の舞台が終わると喪失感を感じるほどです。暗誦大会・語劇ともに私たちの日頃の成果を発揮できる行事で、普段の授業とは違った角度からフランス語を学び、終わった後には仲間との絆が深まったのに加えて語学力の向上が実感できます。これからも私たちらしい作品、そしてフランス語研究会を作っていきます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「あなたのお子様は受けていますか？」

後援会では年2回、語学検定試験受験料を **全額助成** しています



助成の対象となる語学検定試験

英語

- ① TOEIC ※領収証がない場合は 4,645円
- ② TOEFL iBT ※一律 25,530円
- ③ 実用英語技能検定
- ④ 国際連合公用語英語検定試験
- ⑤ IELTS
- ⑥ IELTS for UKVI ※一律 25,530円
- スペイン語
- ⑦ スペイン語技能検定
- ⑧ DELE (スペイン文部省認定証)

フランス語

- ⑨ 実用フランス語技能検定試験
- ⑩ TCF (フランス語学カテスト)
- ⑪ TEF (フランス語能力認定試験)
- ⑫ DELF/DALF (フランス国民教育省・フランス語資格試験)
- ドイツ語
- ⑬ ドイツ語技能検定試験
- ⑭ ゲーテ・インスティテュートのドイツ語検定試験
- ブラジル・ポルトガル語
- ⑮ 外国語としてのポルトガル語検定試験 (旧: 国際ポルトガル語検定試験)
- ⑯ ブラジル教育省外国人のためのポルトガル語検定試験

中国語

- ⑰ HSK (筆記・口頭)
- ⑱ 実用中国語技能検定試験
- ⑲ 中国語検定試験
- 日本語
- ⑳ 日本語教育能力検定試験
- ㉑ 日本漢字能力検定
- イタリア語
- ㉒ 実用イタリア語検定
- ㉓ CILS

※英米語学科1・2年次生と短期大学1・2年次生については、学科が行うTOEIC IPテストに助成1回分を充当します。

【問い合わせ先】教務部分室 8号館1階 TEL. (075)322-6764

例年申請に余裕がございますので、どんどんご利用いただき、お子様の学力アップにご活用ください。

助成を受けるには、所定の手続きが必要になります。

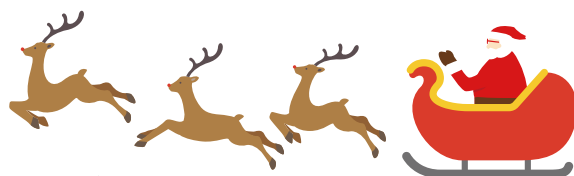
申請方法、申請期間、支給方法については、

助成金に関するホームページにて確認してください。

http://www.kufs.ac.jp/faculties/sub_proficiencyexam.html



DJイベントで留学生と交流



12月22日(金)、CLUB IRIE(クラブアイリー)主催のクリスマスパーティーが開催され、留学生と日本人学生が交流しました。

後援会は、留学生との交流を目的に学生たちが開催するこの活動を助成しています。DJや照明、バーカウンターでドリンクの提供など、どれも本格的でいきいきと交流を楽しむ学生たちの姿が印象的でした。(広報部会 岡 恵子)



「会計部会」の活動報告

後援会費をより有効に活かし 学生生活をサポート

皆さまからの後援会費は、学生の正課および課外活動に対して助成しています。会計部会では、後援会費をより有効に活かすことができるよう、年2〜3回の会議を行っています。

会計というと難しく聞こえますが、大学側との話し合いを重ね、学生生活の充実・発展に協力できる大変有意義な活動です。

今後も会計部会の活動を充実させ、お子さまの学生生活のサポートをまいります。保証人の皆さま、ぜひお気軽に会計部会の活動にご参加ください。心よりお待ちしております。(会計部会 浅田 敦子)



活動メンバー募集のお知らせ

後援会活動に参加しませんか？

京都外国語大学・短期大学後援会には以下の3つの部会があり、保証人同士が親しく交流しながら子どもたちのために活動をしています。

- 広報部会 年に3回発行する後援会会報誌『COMMIT』の企画・取材・編集などを担当
- 会計部会 後援会費を有意義に使うための協議を担当
- 運営部会 後援会や大学主催のイベントのお手伝いを担当
各部会と連携を取る後援会の潤滑油的存在

後援会活動に参加すると子どもが教えてくれない学校の情報も得られますし、さまざまな場面で教職員の方々のお話が聞ける特典があります。どの部会も和気藟々とした雰囲気なので、親同士の情報交換の場としても最適です。

活動に興味のある方は右下の後援会アドレスまでお気軽にご連絡ください。一緒に活動を盛り上げていきましょう！

(広報部会 吉川 和信)



〈編集後記〉



広報部会
小関 明

早いもので次女が外大に入学して4年の月日が経ちました。紆余曲折があり、京都外国語大学への進学を決めたのですが、正直親の私としては「？」でした。私自身の中に外大がどのような大学であるのか予備知識はありませんでした。そして京都で初めて一人暮らしをすることとなり、これも不安でした。ただ、時折自宅に戻った時は大学の授業の内容や友人たちと遊びに行ったことなどを私にも楽しそうに話してくれました。親の思いは当初色々あったのですが、大学生活に順応し、勉学に励み、楽しい青春の思い出を積み重ねていく次女の様子を見て私も次第に彼女が自分に合った大学を選んだことを理解するようになりました。振り返れば、人間的な成長を大きく感じられるこの4年間でした。もちろん本人の努力もあるとは思いますが、担当の諸先生をはじめ、大学の運営に関わる全ての教職員、関係者の皆さまの温かいご支援、きめ細かいご指導に深く感謝申し上げます。

さて最後になりましたが後援会広報部会での私の活動も今号で終わります。周囲の仲間にも助けられ何とか4年間続けることができました。今後も引き続き後援会、そして『COMMIT』へのご支援をいただきますようお願いいたします。

Please contact
to us

Please e-mail

投稿やご意見はこちらまで。
スペースの都合上、
掲載できない場合も
ございます。ご了承ください。

kyotogaidai-commit
@hotmail.co.jp